

都市的地域での地域計画策定に向けた取組みと課題について

大阪府交野市
(星田地区)

農業を担う者数

52経営体

農地面積

7.6ha

主な農畜産物

米、野菜

地域の現状・課題

- ・地区内農地の6割は70歳代以上が耕作しており、うち6割弱が後継者未定。貸し付け希望の農地は1haに満たず、5年後も引き続き自ら耕作する農地は7.5割で、今後も自ら耕作する意向の農業者が多い。
- ・集落全体が農業振興地域外の市街化調整区域となっており、周辺では大型商業施設が建設されている等、農地の転用の期待も大きい中、どうやって農地を守っていくかが課題。



取組を進める中で特に苦労した点

- ・ **農業者の地域計画の必要性への理解**
様々な地域課題を地域の話合いで抽出し、その解決方策を検討することの必要性を訴えた。
- ・ **地域計画が権利抑制とならないことへの理解**
農地転用が出来ないといった「権利抑制」が生じないことを説明。また、転用申請前に必要となる当該農地の地域計画からの除去（地域計画の変更手続き）については簡素化することも可能と説明。
- ・ **部分的な計画策定も地域の話合いの結果としてはやむなし**
府道沿いなど転用許可基準を満たす農地の耕作者の意向が確認できなくても、合意形成できている範囲で地域計画を策定することとする。

将来の地域農業の方向性と取組経緯

- ・ 地域の魅力は、都市的地域の中でも農業を含む緑があること。
- ・ 様々な意見がある中で、農地を農地として維持しながら、地域の皆で守るための最適な方策を検討していくこととなった。

【経緯】

令和3年7月：農家意向調査、現況地図作成
 令和3年11月：集落全員に調査結果報告会を開催
 令和4年8月：代表者決定会議。
 令和5年3月～：集落での協議（現時点で計4回）。

今後の取組方向

計画策定そのものよりも、策定の過程の中で地域に将来を話し合う場を作り、**地域の話合いが継続していることが、一番の成果。**

地域の話合いが自主自立で継続するのであれば、**地域ぐるみで農地を守っていく取組みを促進していく。**

